

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 貿易統計(2009年8月)

発表日 2009年9月24日(木)

～貿易黒字額の増加傾向は継続～

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 エコノミスト 小杉 晃子

T E L : 03-5221-4548

(単位:%)																			
		貿易収支(億円)				輸出数量				輸入数量									
				輸出金額		輸入金額		アメリカ		EU		アジア		アメリカ		EU		アジア	
				前年比	前年比														
		原数値	季調値																
08	1月	▲ 1063	11674	7.7	9.5	7.7	▲ 3.1	3.4	11.9	0.7	▲ 7.1	▲ 1.7	1.7						
	2月	9358	6902	8.7	10.7	14.3	1.8	8.6	21.7	▲ 1.0	▲ 0.5	0.6	▲ 2.9						
	3月	10962	6789	2.2	11.4	5.9	▲ 3.4	5.5	7.9	4.3	▲ 8.4	2.9	12.5						
	4月	4587	5920	3.9	12.2	7.3	▲ 0.5	3.8	12.2	5.8	▲ 6.2	4.2	5.6						
	5月	3411	3733	3.6	4.8	6.6	▲ 0.4	0.1	10.5	▲ 3.4	▲ 11.0	▲ 7.3	▲ 4.8						
	6月	1041	▲ 1048	▲ 1.8	16.7	▲ 1.5	▲ 8.6	▲ 8.9	1.1	4.4	11.9	1.9	2.0						
	7月	819	▲ 382	7.9	18.2	8.9	▲ 5.3	3.1	12.1	2.2	▲ 1.9	▲ 11.2	0.9						
	8月	▲ 3142	▲ 2762	0.2	17.1	▲ 1.0	▲ 18.9	1.7	2.6	▲ 4.5	1.4	▲ 8.1	▲ 5.2						
	9月	910	▲ 779	1.5	28.8	▲ 0.6	▲ 12.2	▲ 8.1	1.2	6.1	5.0	4.0	9.9						
	10月	▲ 752	▲ 2410	▲ 7.9	7.4	▲ 6.9	▲ 17.4	▲ 10.4	▲ 2.8	▲ 2.4	▲ 18.3	▲ 6.0	1.8						
	11月	▲ 2275	▲ 3297	▲ 26.8	▲ 14.4	▲ 22.7	▲ 28.5	▲ 16.8	▲ 22.4	▲ 10.7	▲ 12.2	▲ 14.8	▲ 8.6						
	12月	▲ 3222	▲ 1432	▲ 35.0	▲ 21.5	▲ 29.9	▲ 31.3	▲ 29.7	▲ 30.7	▲ 7.1	▲ 16.1	▲ 10.6	▲ 5.6						
09	1月	▲ 9560	▲ 3725	▲ 45.7	▲ 31.9	▲ 40.9	▲ 48.6	▲ 42.0	▲ 39.0	▲ 11.7	▲ 22.8	▲ 15.3	▲ 10.7						
	2月	827	▲ 107	▲ 49.4	▲ 43.0	▲ 45.4	▲ 55.5	▲ 45.6	▲ 40.6	▲ 25.3	▲ 24.3	▲ 27.4	▲ 30.8						
	3月	91	▲ 192	▲ 45.5	▲ 36.6	▲ 41.1	▲ 49.5	▲ 49.6	▲ 33.8	▲ 20.4	▲ 22.8	▲ 27.5	▲ 20.7						
	4月	664	1219	▲ 39.1	▲ 35.8	▲ 35.9	▲ 49.4	▲ 42.8	▲ 28.8	▲ 20.3	▲ 27.2	▲ 29.7	▲ 18.9						
	5月	2968	2491	▲ 40.9	▲ 42.4	▲ 36.2	▲ 46.8	▲ 40.2	▲ 27.6	▲ 24.0	▲ 34.9	▲ 28.7	▲ 23.2						
	6月	5058	3741	▲ 35.7	▲ 41.9	▲ 27.6	▲ 37.4	▲ 36.1	▲ 19.0	▲ 18.2	▲ 35.9	▲ 23.6	▲ 13.7						
	7月	3779	2221	▲ 36.5	▲ 40.8	▲ 27.6	▲ 34.7	▲ 36.4	▲ 18.6	▲ 14.9	▲ 30.4	▲ 24.3	▲ 11.5						
	8月	1857	2354	▲ 36.0	▲ 41.3	▲ 25.4	▲ 29.3	▲ 39.1	▲ 15.8	▲ 12.8	▲ 29.1	▲ 15.5	▲ 7.6						

(出所) 財務省「貿易統計」

○貿易収支は7ヶ月連続で黒字

8月の貿易収支は+1,857億円(原数値)とコンセンサス(+1,545億円、レンジ▲2,500億円～+4,520億円)を若干上回った。原油価格の下落により輸入金額(前年比▲41.3%←7月同▲40.8%)の減少率が拡大し、輸出金額(前年比▲36.0%←7月同▲36.5%)を上回るペースで減少した結果、貿易収支は7ヶ月連続で黒字となった。輸入は減少傾向が続いているが、世界的な在庫調整の進展や経済対策の効果を受けて、輸出は金額、数量(前年比▲25.3%←7月同▲27.6%)ともに前月から減少率が縮小しており、回復傾向が持続していることが確認されよう。

○米国、アジア向け輸出の回復傾向は継続

輸出の動向を地域別(金額ベース)にみると、ロシア向け(前年比▲85.0%←7月同▲86.5%)は、前月に比べ減少率は若干縮小したものの、依然として悪化に歯止めがかかっていない。また、中東向け(同▲53.3%←7月同▲47.2%)、EU向け(同▲45.9%←7月同▲45.8%)も前月から減少率が拡大した。

一方、米国向けは金額(同▲34.4%←7月同▲39.5%)、数量(前年比▲29.3%←7月同▲34.7%)とも、前月に比べ減少率が縮小している。さらに、アジア向けも金額ベース(同▲30.6%←7月同▲29.9%)での減少率は拡大しているが、数量ベース(同▲15.8%←7月同▲18.6%)でみれば、前月から減少率は縮小している。海外における在庫調整の進展や各国の景気刺激策の効果によって、米国、アジア向けを中心に輸出は緩やかに改善しているといえよう。

品目別でみると、米国向け自動車(前年比▲31.9%←7月同▲40.8%)輸出の回復が目立つ。8月24日まで米国で実施されていた、自動車買い替え支援策による効果が押し上げに寄与したと考えられる。他方、

半導体等電子部品は、アジア向け（前年比▲25.7%←7月同▲23.3%）をはじめ減少率は拡大したが、在庫調整の進展により足もとにおいて国内電子部品の出荷・在庫バランスの改善基調が継続していることを考慮すると、均してみれば回復傾向が続いていると判断されよう。

○輸入は金額ベースでの減少が持続

輸入は昨年のエネルギー価格高騰の反動の影響を受けて、原油、液化天然ガスを中心に金額(前年比▲41.3%←7月同▲40.8%)ベースでの減少が継続している。もっとも、数量(前年比▲12.8%←7月同▲14.9%)ベースでみると、前月から減少ペースは緩和している。国内景気の持ち直しを背景に、輸入も緩やかな持ち直しに転じつつある。

○先行き輸出の回復に伴って、貿易収支も緩やかに増加していく見込み

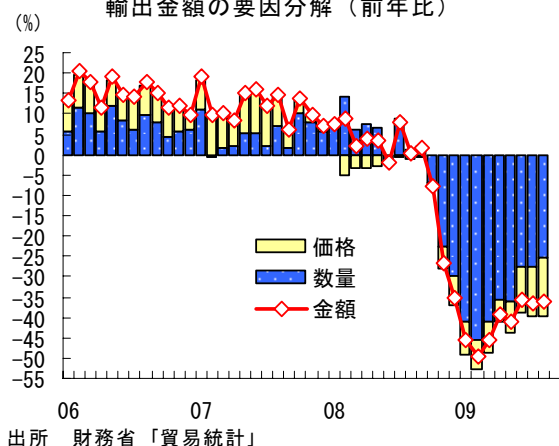
このように、昨年は原油価格の高騰を主因として8月の貿易収支は赤字だったが、今年は原油価格下落を背景に輸入金額が下落したことに加え、米国向け自動車を中心に輸出の減少ペースが緩和したことで、貿易収支は黒字基調を維持している。

先行きについても、輸出に先行する傾向がある米ISM製造業景気指数（新規受注）やOECD景気先行指数（6ヶ月前比年率）などの指標が比較的速いペースで改善していることから考えて、目先の輸出は、引き続き改善傾向で推移する可能性が高い。

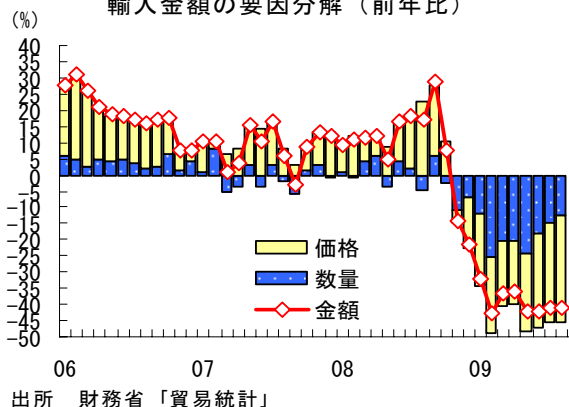
他方、輸入も、価格面での下落は続くと思われるものの、輸出や生産の回復に伴って国内景気が持ち直していくことで、今後は緩やかな増加に転じよう。

輸出の回復に伴って、貿易黒字額は今後も増加傾向が継続されよう。

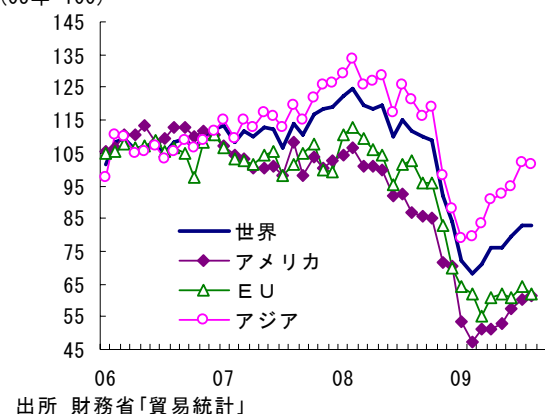
輸出金額の要因分解（前年比）



輸入金額の要因分解（前年比）



地域別輸出数量指数の推移（季調値）
（05年=100）



米国向け実質自動車輸出の推移
（'05=100）

